事業所名	土浦市療育支援センターつくし療育ホーム	支援プログラム	作成日	令和 7 年	3 月	1 日

事業所理念		～常にこどもの視点に立ち、こどもの最善の利益を一に考え支援します～ ・障害のあるこども本人の最善の利益の保証　　・障害の種別にかかわらず、こども本人の意思を尊重し、こども本人の最善の利益を考慮する ・地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進と合理的配慮　　・家族支援の重視 ・障害のあるこどもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を子育て支援において推進するための後方支援としての専門的役割		
支援方針		・個別支援計画の作成　　・保護者に向けたサービス提供内容のわかりやすい説明 ・利用児と保護者の状況やその置かれた環境に応じた効果的な支援の実施(集団指導・日常生活指導・個別指導・相談及び助言等) ・利用児の心身の特性に応じたサービスの提供　　・保護者と一緒の通園を活かした支援の充実		
開所時間		8時30分～17時15分　サービス提供時間9時00分～16時00分 土日祝及び年末年始閉所	送迎実施の有無	なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	こどもの心身の状況や、日常生活動作（食事・排泄・着替え・歯磨き等）の状況を把握し、こどもが安心して生活できる環境を整えながら、日常生活動作の獲得に必要な支援を保護者と一緒に行っていきます。健康管理のため、体位測定、歯科健診を行います。		
	運動・感覚	音楽リズム、運動遊び、制作等の遊びを通して、粗大運動や手先の巧緻性等の向上を図ります。また、感覚遊び等を通して、様々な感覚を刺激し、身体のイメージづくりや操作性の向上を促します。保育士とリハビリテーション専門職が連携し、より広い視点で支援を行います。		
	認知・行動	絵カード等を活用しながらスケジュールを提示し、こどもが生活の流れを理解し、自ら行動できるきっかけづくりを支援します。こどもが情報を正しく受け取れるように、刺激を整理し、環境の調整を行います。		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの土台となる人と関わる心地よさや楽しさを感じられるように親子遊びや集団遊びを提供します。言葉や身振り、絵カード等の視覚的な手がかりも含め、こどもが「わかる」、「思いが伝わった」と感じられるような支援をしていきます。		
	人間関係 社会性	こどもが集中したり、情報を受け取りやすいように、環境刺激に配慮しながら職員や友達と関わる機会をつくります。その中で、達成することの満足感や職員や友達と楽しさを共有する経験を積んでいけるように支援します。		
家族支援		一緒に活動する中で、その場でこどもの成長や課題を保護者と共有し、共通理解のもと対応していきます。また、相談があった時には、その都度助言、面談を行います。	移行支援	移行支援について説明し、こどもの発達段階を考慮しながら、今後の方向性について一緒に考えていきます。
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携、交流保育の実施、近隣各機関との連携、研修会の実施	職員の質の向上	職場内研修の実施、施設外研修への参加、オンラインセミナーの活用
主な行事等		季節の行事（七夕、おたのしみ会、豆まき）、運動会、お別れ会、避難訓練、講習会、おもちゃライブラリー、園外活動、整形外科医と理学療法士による療育相談（ゆりかご教室）		